

一般質問

障がい者への対応の在り方について
障がい者支援を充実させよ！

質

平成17年に施行された七尾市民ふれあい福祉条例には、自ら生きがいを持って、安心して社会のあらゆる分野の活動に参加できるよう、様々なハンディキャップを持つ人たちの障壁を取り除くことが大切であると掲げられている。そこで、障がい者支援の在り方について次のとおり伺う。

①障がい者への福祉サービスの質の向上を図るために、地域活動支援事業を活用した七尾市独自の体制とはどのようなものか。

②障がい者の方が起こす周辺住民との間に生ずるトラブルなどについて、市ではどのような相談体制を組み、行政措置を講じているのか。

答

①現在、機能訓練について国の事務処理要領と七尾市のサービスで利用期間にずれが生じており、同等のサービスで、利用者負担が現在と大きく変わらないような制度設計を事業所と協議している。このように事務処理要領で示されている他に必要ものを市独自の任意事業としてサービスを行うものである。②総務課内に市民相談の窓口を設置している。当事者間での解決が難しい場合は弁護士による法律相談なども行っている。また、本人に福祉的な支援が必要な場合は、七尾市の担当窓口で相談、対応も行っている。



西川 英伸 議員 (新国会)



一般質問

大学の学部誘致（部分誘致）について
大学の誘致を！



山花 剛 議員 (無党派)



質

中能登町が飛騨高山大学（仮称）のサテライトキャンパスの誘致を行い、津幡町は、星稜大学新キャンパス誘致予定地というふうな大きな看板も挙げて整地に取りかかっている。

過疎化が進む地域では、若い人を呼び込めば、その中からまた定住してくれる人も出てくれるかもしれない。大学誘致を行うことで、地域の活性化が図られると思う。七尾市においても、若者の定住のためにも大学誘致の考えがあるか伺う。

答

七尾市では、平成23年6月の法政大学を皮切りに5つの大学と協定を結んでおり、このうち県内の3つの大学は、市内各地での様々なフィールドワークや地域の祭りへの参加など、学生たちの活動の場として七尾市を活用していただいている。

大学の誘致話があれば、大変ありがたいが、まずは現在協定を結んでいる学校との関係性を強化していくことで、サテライトキャンパス等の学校の一部誘致にもつながるよう取り組んでいく。

【大学との協定締結の状況】

H23年 6月	法政大学	H28年 3月	金沢学院大学・短期大学
H24年 5月	金沢大学	H30年 2月	金沢星稜大学・短期大学
H27年 5月	日本体育大学		

一般質問

平和展について
平和展、加害情報を求めよ！

質

これまでの平和展は、被害の視点での展示が多かった。加害の視点で平和の大切さを訴えている自治体もあり、中国大陸や朝鮮半島からの強制連行・強制労働といった歴史にしっかりと向き合い、「友好と慰霊を続けてきたことに胸を張ってほしい」と市民に訴えている。市内でも一衣帯水の碑の前で碑前祭を毎年行っていることを考えれば、七尾市も、市民のみなさんに加害に関する情報・資料の提供を求めているかどうか。

答

平和展の開催にあたっては、引き続き市民からの資料提供を求め、また、七尾に残る資料を市民に紹介し、戦争や平和について考える機会としたい。

展示内容は毎年検討しているので、ご提案の点も含め、今後どういったものを展示するのか、どういった平和展としていくか考えていきたい。



山添 和良 議員 (無党派)



令和3年度の平和展



展示の様子（令和3年度平和展）

【これまでの主な展示内容】

- 佐々木禎子さんの被爆被害を伝えるポスター
- 小・中学生の平和に関する絵画や標語
- 巨大紙芝居「第二能登丸のそなん」